



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 10 月 28 日(土)  
銀河連邦共和国 編

全国のロケット施設がある地域のうち、能代を含む5地域で構成される銀河連邦で、毎年「銀河連邦フォーラム」が開催されています。5地域持ち回りで開催されるこのフォーラムが、今回能代市で開催されることになりました。フォーラムは経済交流をテーマに開催され、その中で、当ネットワークの能登代表が能代市内の経済交流を題材として講演しました。

演題は「小さな町の経済交流」。のしろ白神ネットワークの活動を中心に、そこから出来た交流による活動の広がりについても紹介しました。活動紹介については、主に「のしろまち灯り」の目的、概要から具体的な活動内容を写真を交えて説明し、参加された皆様には、沿道での木の香る賑わいづくりに取り組んでいること、様々な連携によりまち灯りが成り立っていることを理解してもらえたと思っています。

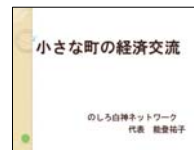
テーマが「経済交流」ということなので、のしろ白神ネットワークの活動を通して生まれた交流を元に発生した新たな取り組みも紹介。上町すみれ会と常盤ときめき隊による「日曜市」、上町すみれ会と西大通商店会のおかみさん会による「まちなか美術展」について説明しました。「日曜市」は、上町すみれ会が活動する場所を提供することで、常盤ときめき隊による能代の中心市街地での野菜の直売が実現し、お互いの出来るところがうまくかみ合った活動です。「まちなか美術展」は、おかみさん会との新たな交流により生まれた活動で、街なかに飾った子どもたちの作品を鑑賞するため、多くの人が街を歩くことになり、周辺のお店にも波及効果がありました。これらの活動を紹介することで、知恵と工夫をだしあい、そして連携して楽しみながら取り組むことが、様々な大きな活動につながっていくことを伝えることが出来たと思います。

今回のような機会を通じて、他市町にのしろ白神ネットワークの活動を紹介することは、活動をPR出来るとともに、今までの活動を振り返ることにもなるので、とてもよい経験となりました。

文： 小林 淳・藤沢 泰彦



能登代表の発表の様子です。パワーポイントの画像をプロジェクターで映し、画面を見ながらの説明。若干緊張しながらも、うまく活動内容を伝えることができました。



← 発表資料の一部抜粋



フォーラム終了後には懇親会も開催され、他地域の方々とも交流しました。

